

中核市八王子に関する地域説明会(11月開催)の実施結果について

1 説明会 概要

(1)開催日・会場

開催日	会場	説明分野	来場者	会場での 発言者	アンケート 回答者
11月 1日(土)	クリエイトホール 第2学習室	全7分野	77人	3人	52人
11月 3日(祝)	大和田市民センター 会議室3	都市計画 消費生活	25人	6人	21人
11月 8日(土)	由木中央市民センター 会議室1・2・3	都市計画 環境	23人	1人	18人
11月 9日(日)	由井市民センター 調理室	福祉 保健衛生	16人	2人	14人
11月22日(土)	恩方市民センター 会議室3	福祉 保健衛生	45人	5人	36人
11月24日(祝)	中野市民センター 会議室1・2	子育て 教育	26人	3人	20人
11月29日(土)	台町市民センター 会議室1・2	子育て 教育	24人	2人	16人
11月30日(日)	横山南市民センター 多目的室	環境 消費生活	14人	2人	11人
計			250人	24人	188人

(2)開催時間

午後2時～4時

(3)内容

- ・中核市の概要(事務の様子を職員が演じた2分間のDVDで上映)
- ・6月と8月の説明会における市民意見を参考に、権限の活用を分野ごとに詳しく説明
- ・式分方小学校6年生による中核市に関するスピーチ(11/22・11/24・11/29のみ)
- ・質疑応答、アンケート
- ・各種冊子等の配布(出前講座・ハチマルガイド・オリンピック50周年ボールペン)



説明会の様子(クリエイトホール)



式分方小学校6年生によるスピーチの様子
(中野市民センター)

2 アンケート集計結果

(1)アンケート回答者数 188人

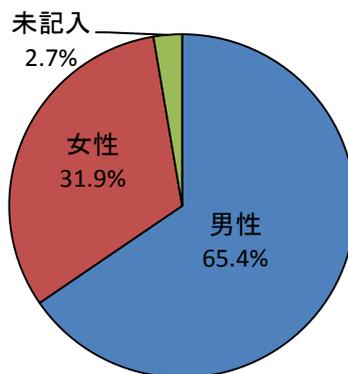
※各項目の割合は、四捨五入の影響で合計が100%にならない場合がある。

(2)設問内容

設問1 あなたご自身についてお聞きします。

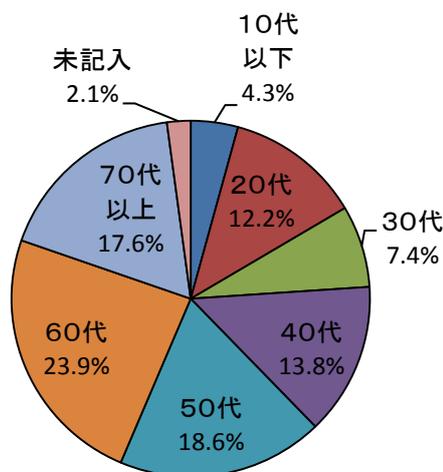
<性別>

男性	123	65.4%
女性	60	31.9%
未記入	5	2.7%
計	188	100.0%



<年齢>

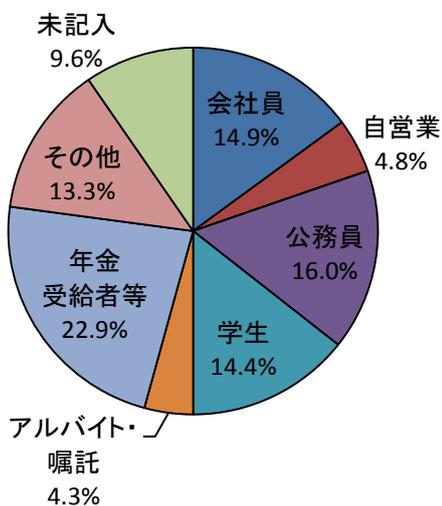
10代以下	8	4.3%
20代	23	12.2%
30代	14	7.4%
40代	26	13.8%
50代	35	18.6%
60代	45	23.9%
70代以上	33	17.6%
未記入	4	2.1%
計	188	100.0%



幅広い年代の方に参加していただきました。

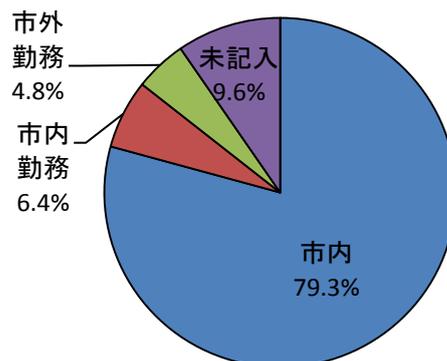
<職業>

会社員	28	14.9%
自営業	9	4.8%
団体職員	0	0.0%
公務員	30	16.0%
学生	27	14.4%
アルバイト・嘱託	8	4.3%
年金受給者等	43	22.9%
その他	25	13.3%
未記入	18	9.6%
計	188	100.0%



<住所>

市内	149	79.3%
市外(市内勤務)	12	6.4%
市外(市外勤務)	9	4.8%
未記入	18	9.6%
計	188	100.0%

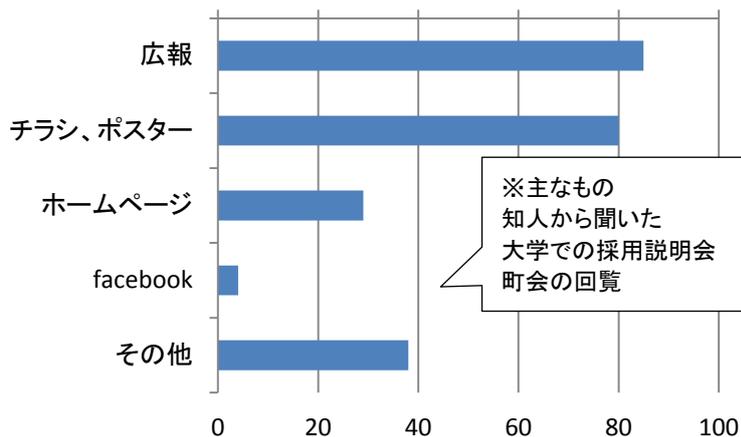


市内在住の方が約8割を占めました。

設問2 この説明会を何でお知りになりましたか。(複数回答可)

広報	85
チラシ、ポスター	80
ホームページ	29
facebook	4
その他	38

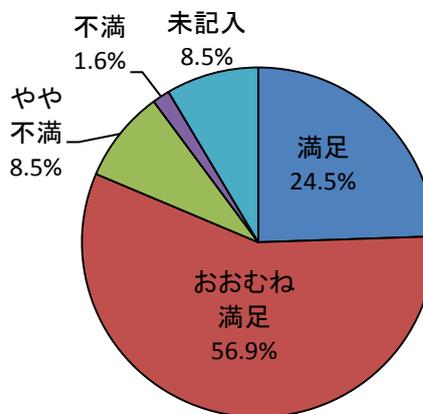
広報やチラシ、ポスターで説明会の開催を知ったという方がほとんどでした。



設問3 説明会の内容はいかがでしたか。

満足	46	24.5%
おおむね満足	107	56.9%
やや不満	16	8.5%
不満	3	1.6%
未記入	16	8.5%
計	188	100.0%

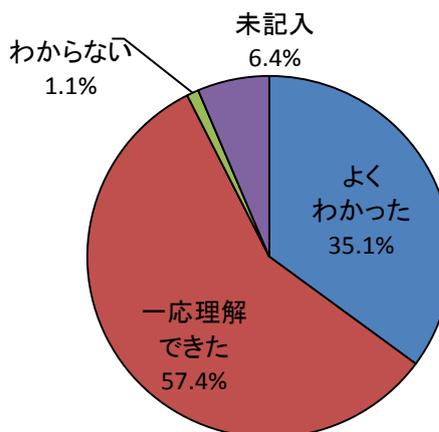
満足・おおむね満足と回答した方が8割を超えました。



設問4 中核市になるとどのようなことが変わるのか、理解は深まりましたか。

よくわかった	66	35.1%
一応理解できた	108	57.4%
わからない	2	1.1%
未記入	12	6.4%
計	188	100.0%

よくわかった・一応理解できたと回答された方が9割を超えました。



設問5 本日の説明に関するご質問、今後の説明会へのご要望、市政へのご意見・ご感想などを自由にお書きください。

意見・質問・感想	市の考え方	担当部署
<p>種々の権限が移され、大変良いことづくめであるが、市の負担もかなりあるのではないかと、例えば財源の負担、職員の増員、町会自治会への事務負担等々あると思われるので、そのあたり説明をしてほしい。</p>	<p>中核市移行に伴う法定移譲事務を実施するための経費は、国の地方財政制度の中で財源が保障されています。地方交付税の交付団体である本市は、中核市として事務を行うために必要な費用は国からの地方交付税が増額となることで財源が賄われます。</p> <p>中核市移行により移譲される事務を実施するために必要な人員については、現時点で65名程度を見込んでおり、増員や配置替えで対応する予定です。</p>	<p>自治推進課 財政課 経営管理課</p>
<p>財源的な裏付けや変化の説明がなかったので、それも資料に載せてほしい。</p>	<p>中核市移行に伴う法定移譲事務を実施するための経費は、国の地方財政制度の中で財源が保障されています。地方交付税の交付団体である本市は、中核市として事務を行うために必要な費用は国からの地方交付税が増額となることで財源が賄われます。</p>	<p>財政課</p>
<p>1.中核市になると市の業務が増えると思います。職員の増員が図られるのでしょうか。税金(市民税)は上がるのでしょうか。 2.もうすこし大きな会場で行っていただけると良かったです。</p>	<p>中核市移行により移譲される事務を実施するために必要な人員については、現時点で65名程度を見込んでおり、増員や配置替えで対応する予定です。</p> <p>また、本市では、地方税法に規定されている標準税率を採用しており、中核市移行に伴い、市民税・都民税の税率を変更することは予定していません。</p>	<p>経営管理課 税制課</p>
<p>会場暑かった。 中核市移行に伴い、八王子市の権限が強くなることにはなりますが、いわゆる交付金の様なものについて全くふれていませんが、都から何かしの金額が交付されるのでしょうか。又都のニラミがきかない分、いろいろな癒着が増えると思うが、その監査はどの様になりますか。 いろいろな施設が立川にもってゆかれ、残念に思うことばかりです。何か、人を呼ぶ様な大きな起爆材料はないのでしょうか。</p>	<p>中核市移行に伴い、東京都から新たに交付金等が交付される考えは示されていません。</p> <p>本市では、監査事務局を設置して、市の事務が適正に実施されているか監査しています。移譲された事務についても、市の事務事業として適正に監査事務を行っていきます。</p> <p>また、関係法令・条例等に基づき指導監査を実施するため指導監査課を設置し、万全の体制で指導監査を実施していきます。</p>	<p>自治推進課 監査事務局</p>

<p>会場をなぜこんなせまいところにしたか。 学校教育の場でPR、説明を若者に。 予算のメリット、デメリットの説明(特にデメリット)。 43市より八王子市(都)は遅れているのか。</p>	<p>各学校では地域学習の中で八王子市が中核市に移行することを扱っています。27年度から使用する社会科の副読本「わがまち八王子」には、新たに市が中核市に移行して様々な事務を行うことにより、めざしていくまちの姿を掲載します。 中核市移行に伴う法定移譲事務を実施するための経費は、国からの地方財政制度の中で財源が保障されていますので、予算上のメリット、デメリットはありません。</p>	<p>学校教育政策課 財政課</p>
<p>1.市民の声を聞く機会を多く持ってほしい。 2.市民参加の市政をお願いします。 3.中核市になるデメリットを知りたい。</p>	<p>市では移行に伴うデメリットはないと考えています。課題としては、中核市移行に伴い専門的な知識を必要とする事務が増えるため、専門職の確保や職員のスキルアップなどを図る必要があります。そのため、専門職の採用や職員に向けた研修の実施、東京都への職員派遣を行っています。</p>	<p>自治推進課</p>
<p>1.審議会の設置権利が生まれるとの説明がありました。中核市に移行する前から市が事務権限を有していた分野の審議会についても、これまでは市に設置権利はなかったのでしょうか？ 2.キャリアステージに応じた研修は、例えば主任教諭として都内の他市から赴任してきた人の場合、教諭クラスの研修メニューにある「地域理解研修」は受けないのでしょうか。受けられるようにして下さい。</p>	<p>審議会の設置については、法令や条例によって定められています。これまでも必要な審議会については設置してきました。中核市移行により、より多くの審議会の設置が可能となります。 キャリアステージでの研修については、現在、具体的な研修メニューの検討を進めているところです。ご意見にある地域理解研修については受講できる方向で考えております。</p>	<p>自治推進課 指導課</p>
<p>中核市になることで業務が増えると思いますが、市民の雇用は増えるのでしょうか。 八王子は大規模な市であるために、生活上の質問や意見、要望等の窓口が近隣の市に比べても分かりづらく感じます。中核市になることで身近な市政への窓口が増えることを望みます。</p>	<p>中核市に移行することで、保育所の設置認可や介護サービス事業者の指定などの権限が市に移譲されます。市が、スピーディーできめ細かな認可や許可が行うことで、事業所が増える可能性があり、市民の雇用増につながるものと考えます。</p>	<p>産業政策課</p>
<p>立ち入り検査？事前通告では意味ない。 市の仕事、職員の増員は住民税が増えるのでは。</p>	<p>計量法の立入検査は、商店などの事業所で使用されている計量器(はかり)に誤差が生じていないか、また正しく計量されているかを確認するものです。そのため、不適正な事業者を摘発するというよりも、事業者の協力を得ながら適正な計量が順守されるよう、意識を高めていくことが重要と考えています。 また、市では、地方税法に規定されている標準税率を採用しており、中核市移行に伴い、市民税・都民税の税率を変更することは予定していません。</p>	<p>消費生活センター 税制課</p>

<p>11/1クリエイトでの説明会に出席した。今回は具体的説明で分かり易かった。参加人員が少ないのが心配である。広報が必要か。</p>	<p>本市では、広報はちおうじをはじめ、映像やホームページ、SNS(ツイッターやフェイスブック)など、さまざまな媒体を活用して、積極的な情報発信に取り組んでいるところです。また、中核市説明会に関しては、町会自治会連合会や各種市民団体にチラシを配布し、参加を呼びかけました。今後も市が主催する説明会への参加者が増加するよう、有効な情報発信の方法について研究していきます。</p>	<p>自治推進課</p>
<p>・中核市移行項目で、計量、都市計画、屋外広告物の説明内容がすべてかどうか不明。 ・都市計画道路等の計画、施工等の関係は、八王子市の権限はどうなるのか。</p>	<p>中核市移行に伴い都市計画道路については、都市計画決定、事業決定に当たっての権限に変更はありません。なお、優先的に整備すべき路線を10年ごとに『優先整備路線』として定めており、この計画に基づいて整備を進めています。</p>	<p>交通企画課 計画課</p>
<p>不勉強で申し訳ないのですが、中核市への移行にあたって、八王子市の財政はどのように変化するのでしょうか。権限が東京都から移ることで、当然業務およびそれに従事する人員が増加し、歳出も増加するであろうことが予想されますが、その歳出の増加分はどのようにまかなわれるのでしょうか。</p>	<p>中核市移行に伴い実施する事業が増えるため、人件費も含め予算規模は大きくなります。しかし、法定移譲事務に係る経費は、地方財政制度の中で財源が保障されていますので、これらの増額となる経費に対しては、国からの地方交付税が増額となることで賄われます。</p>	<p>財政課</p>
<p>各サービスが速くなるのは理解した。今までの事務対応が大変だったが、これまで以上に業務が増え、より対応にタイムラグができないか不安。</p>	<p>中核市移行により移譲される事務については、現時点で65名程度の増員により対応する予定ですので、タイムラグが生じることはないと考えています。</p>	<p>自治推進課</p>
<p>・多摩をリードする街づくり 多摩をリードできるか。立川、武蔵野、町田等、八王子よりリードしている。 (例)羽田に行くと、立川、町田、府中、調布等の行先バスが多いが、八王子は少ない。東京地区、関東、全国の人が集まる場所等に、八王子と記入しているバス等の運行を。 たとえば、先日TDLに朝行きました。すると人もバスも全国から集まったTDL内バス停に多摩地区の名前がなかった。一番のバス運行で、八王子を全国に知らせる。 八王子祭りにディズニーを参加してもらい、子供から老人までたのませる。八王子以外からも人出があり、八王子を中核市であることを知らせることになる。</p>	<p>まちの魅力を発信する方法についてのご提案と受け止めました。本市では、多摩をリードする魅力あふれるまちづくりを目指すとともに、八王子の魅力を市内外に積極的に発信し、多くの方に市の魅力を知っていただくことで、地域の活性化につなげていきたいと考えています。そこで現在、有識者・公募市民等で構成する懇談会の意見や、若手職員による庁内プロジェクトチームによる調査研究などを通じて、八王子の魅力発信についての基本方針の策定に向けて取り組んでいます。ご意見も、今後の検討の中で参考にしていきます。</p>	<p>都市戦略課</p>

<p>猫のノラにえさを与える。ふん等迷惑をかけているが、なんとか注意できないか。</p>	<p>保健所では飼い主のいない猫に対して無責任な餌やりをしている方に、管理すべき猫を特定し、不妊去勢手術を行ったうえで、置き餌はせず糞等の掃除を合わせて実施するようお願いや啓発をしています。</p>	<p>生活衛生課</p>
<p>本日の出席者に身体障害者がいたのでしょうか。もし、いなかったら、書き表示は不要だったと思います。税金のムダ遣いです。よく考えてください。</p>	<p>地域説明会ではスクリーンに発言内容等を手書き文字で表示する「要約筆記」を実施しました。要約筆記は、聴覚障害者(耳に障害があり、聞き取ることができない、又は明瞭に聞き取りづらい方。)にとっては、手話通訳と並ぶコミュニケーション(伝達)の方法であり、特に、手話を習得していない聴覚障害者や難聴高齢者には必要な通訳です。 市では、障害のある人もない人もともに安心して暮らせるまちの実現のため、これまで障害者の社会参加を困難にしていた障壁(バリア)をできるだけ取り除いていく考えであり、今回のように不特定多数の市民の方を対象に行う説明会などでは、聴覚障害者等が参加しやすくなるようにしていくことが必要と考えています。 今後も、市の行事に要約筆記を派遣することがありますので御理解ください。</p>	<p>障害者福祉課</p>
<p>最初の小学生式分方小長坂君の素晴らしい研究発表でした。今後この様に若い青年等(高校生、大学生)に参画して頂き、意見知恵を反映できると良いと思います。今日参加して良く判りました。素晴らしい企画でした。</p>	<p>市では、義務教育段階のうちに、児童・生徒が自分の考えをもち、積極的に発表する経験を積ませることにより、高校生・大学生等になってからも自分の意見を主張できるように成長していくと考えています。 大学生については、毎年学生発表会を開催して学生の意見の市政への反映を進めているところです。今後も学生の市政への参加の機会を増やしていきたいと考えています。また、中核市移行については、大学等に中核市移行や地域説明会の開催の周知ポスターを掲示して、周知・啓発をしています。中核市制度の調査研究をしているゼミや学生の情報は現在のところありませんが、長坂君が研究発表を行ったことについては参考にしていきます。</p>	<p>指導課 学園都市文化課</p>
<p>組織の変更の話がない。東京都下請だけか。</p>	<p>中核市移行に伴い必要な体制整備を順次図っています。平成26年4月には産業廃棄物に関する事務の移譲に伴い新たに課を設置しました。今後も中核市に移譲される事務を円滑に遂行できるよう、組織の見直しを進めていきます。</p>	<p>経営管理課</p>

<p>1.学童保育の高学年児の受け入れ(27年4月より14施設から)ですが、是非早期に充実させて頂きたいと思っております。 2.上記のことですが、親の意見にかかわらず、本人の意志で入所出来たら素晴らしいと思っております。</p>	<p>低学年が対象の現在でも待機児童が発生しており、地域においてはこれから待機児童数が増えるところもあるため、高学年の受け入れについては、学童保育所だけでなく、放課後子ども教室など、他の放課後の居場所と連携し、拡充を図っていきます。</p>	<p>児童青少年課</p>
<p>字づらを追うだけでなく、市民の立場に立った説明をお願いしたい。市民の声をどのように入れていくのか……</p>	<p>市は、平成20年に市民参加条例を策定し、政策の立案、実施及び評価の一連の過程で市民が市政に参加しやすい環境の整備に努めています。市民の意見を的確に政策に反映するため、説明会、公聴会、審議会、パブリックコメント、市政への提言(はがき・Eメール)など、様々な手法により多様な市民の声を収集し、中核市移行後も市民の声を市政運営に活かしていきます。</p>	<p>広聴課</p>
<p>できるだけ多くの分野について話を聞きたかったが、日程の都合で2か所だけになった。異なる分野の内容が遠い地区で行われるので徒歩か公共交通しか移動手段がない身には参加が難しかった。周辺地区でいろいろな内容を紹介してほしい。</p>	<p>今回の説明会では各会場で中核市が行う事務を詳細に時間をかけて説明するため、分野を絞って説明しました。中核市移行に限らず、担当部署へ直接お問い合わせいただくか、出前講座を活用いただければ、ご興味のある分野について説明します。</p>	<p>自治推進課</p>
<p>まちづくり、体制の強化等が含まれていることが多々あります。予算についても知りたいと思えました。そうした窓口があればと思います。</p>	<p>中核市移行に伴い実施する事業が増えるため、人件費も含め予算規模は大きくなります。しかし、法定移譲事務に係る経費は、地方財政制度の中で財源が保障されていますので、これらの増額となる経費に対しては、国からの地方交付税が増額となることで賄われます。</p>	<p>財政課</p>
<p>中核市移行に伴う行財政改革(制度変更を含む)についての説明がほしい。相変わらず出席者が少なく、市民全体にどの程度、啓発ができていのか心配。それ故、移行後、行政(市)主体(市民参加の少ない)運営がなされていくのではないだろうか。小学生による3分間スピーチは良い試みだ。大人からの一言。市への協力ではなくて、市に対しては参加していくことが望ましい。</p>	<p>市ではこれまでも、持続可能な行財政運営の推進に取り組んできました。中核市移行により、新たに移譲される事務についても、既存事務と合わせた見直しなど創意工夫を凝らし、本市の特性を踏まえた効果・効率的な市民サービスの展開が図られるよう努めます。</p>	<p>行革推進課</p>
<p>買い物難民に向けて、移動販売などを実現してほしいと思っております。</p>	<p>現在、移動販売を市内数か所で実施しており、さらに他の地域でも展開できるよう、場所の選定を含め、検討しています。</p>	<p>産業政策課</p>
<p>個々の移管業務が市民生活にどう影響するか(メリット、リスク等)、具体的に分かり易い形でHP上にでも公開してほしい。</p>	<p>現在、中核市への移行により市がどのように変わるのか、ホームページで情報発信しています。より分かり易くなるよう工夫していきます。</p>	<p>自治推進課</p>

3 会場での質疑応答

意見質問	回答
メリットや期待だけ市民に説明しているが、本当にトータルでメリットがあるのか。	こう変えていきたいという説明をさせてもらったが、それによりメリットはあると考えている。中核市移行はゴールではなくスタートなので、権限を使ってこうしてほしいというご意見を寄せてほしい。
中核市移行後に必要な経費37億5千万が交付税で賄われるとのことだが、賄われなくなったらどうするのか。	国全体の財政制度として保障されている。
ワンランクアップというが、文化施設は都内ワースト5と言われている。ワンランクアップしただけではどうしようもない。10ランクアップしないと。	文化施設の充実は、全体の施策の中で判断し、必要なものについて検討していく。
中核市移行に必要な職員は何人か。	65名を順次増員し、すでに東京都へ派遣研修や条例づくりのために40名ほど増員している。移行後はこれまでやっていなかったことをするので、必要な人数を検証していく。
東京都の睨みが効かなくなる。監査体制の増員はあるのか。	福祉施設の指導監査を行う指導監査課を新設した。東京都へ派遣研修を行い、現在マニュアル作りなどをして備えている。
以前、自宅の隣接地でビル工事が行われた際、騒音と振動に関してそれぞれ測定をもらった。しかし、その数値結果は自分の感覚より低く出ており、正しく測定されていないのではないかと感じた。はかりの事務を始めたら、工事現場の騒音計や振動計についても市で検査を行うのか。また、検査のシールなど貼るようになるのか。	騒音計、震度計については、市が行う定期検査の対象ではない。東京都に密閉された施設があり、そこで検査している。検定が行われたものについては、検定印が付いている。
特別養護老人ホームの設置について、移行当初は、都の職員が市に出向して対応することになるのだと思う。そうなれば、市の職員が育ってくるのは、5年から10年先になってしまうのではないか。	移行後まで高齢者の施設に、都の職員が来て事務を行うことはない。既に市から都へ職員を派遣して事務の研修を受けており、また、先進市にも視察を行って学んでいるので、移行後は市の職員だけで十分対応できる。
都が行っていた業務を市が行うことで、職員はどれくらい増えるのか。	65名増員する。全て新規採用ではなく、既存事業の見直しも行って対応する。
「中核市」というネーミングは、市民にはわかりにくい。八王子が一步進んでいることを自慢できるようなサブタイトルをつけられないか。	名称は法律で定められているので、変更できない。しかし、ご意見を参考にわかりやすくなるよう丁寧な説明を心掛ける。
以前の説明会にも参加したが、今回も参加者が少ない。PR不足ではないか。	団体に働きかけ、市の広報やホームページなどでも周知している。課題であると考えている。
行政用語が多すぎて、話が難しい。市民がわかるような説明会にしてほしい。	引き続きわかりやすい説明となるよう努力していく。

<p>区画整理事業について民間参入緩和と聞いたが、市独自の区画整理はどうなるのか。</p>	<p>市が実施しなければいけない区画整理事業もある。都市計画マスタープランをはじめ、これから策定する計画による。</p>
<p>景観条例の基準について、基本的に都の内容を引き継ぐとあったが、移行後はどうなるのか。</p>	<p>都の条例は広域的なものである。八王子に当てはまらない部分についての修正はあるが、大幅な変更はないと考える。</p>
<p>中核市移行について、越谷市も27年4月ということであれば、八王子市は本当に44番目に移行ということでもいいのか。</p>	<p>行政順では45番目になるかもしれないが、八王子市は政令が5月に公布され、越谷市の公布は10月であったことから、44市目と言っている。</p>
<p>来年の4月よりワンランク上の八王子を目指すとのこと期待している。話を聞いていると、権限と事務量が約1,200増える中で、事業主の方には、事業の効率化があるかと思うが、一般の市民については、何かメリットがあるか。</p>	<p>窓口の効率化によるスピードアップがある。また、身近な市が事務を行うことにより八王子市に見合ったよりきめ細やかな対応ができることが市民の方々のメリットになると考えている。具体的には、福祉の分野で、老人ホームや保育所等の認可の権限が市に移譲され、新たに設置した指導監査課が、適正に行われているかの指導監査を行うことで、よりきめ細やかな対応ができる。</p>
<p>近隣説明の規定について、八王子独自の要綱を設けるとのお話があったが、要綱を設けた時に適用は施行日以後なのか施行日前まで遡及するのか、どのように考えているのか。施行日以後とすれば、既存宅地の関係の話で、以前から建っているものも考慮しようとの話があったが相反するのでは。</p>	<p>先ほどの近隣説明の規定については、法律の要件ではなく、八王子市独自の要件であると説明した。この近隣説明は現行運用している八王子市開発指導要綱で既に規定しているもので、中核市移行後もそのまま存続していく。事業を周知することが大きな目的であるので、事業の前に行うよう、八王子市が申請を受付けるときに指導している。これは重機が入って掘削、盛り土を行う工事で、近隣への影響が大きいので近隣の方々へお知らせすることになっている。一方、かつて家が建っていた平地をそのまま使用して、もう一度家を建て直すような土や地面の造成が伴わない場合については、特に近隣説明を求めてはいない。今後の課題とする。</p>
<p>地球温暖化については、100年後には東京でマンゴーができるようになるのではとないかと言われている。中核市となって、温暖化対策について、八王子はどのような対策を考えていくのか。他市に先駆けて画期的な方策を打ち出してほしい。</p>	<p>現在、温暖化対策地域推進計画を策定中であり、そのなかで八王子らしい、特徴を活かした取り組みを進めていく。</p>
<p>中核市移行に伴い年間どのくらいの経費がかかるのか。また、中核市になった折には財源手当てとしての収入と支出の出入りは。</p>	<p>人件費や委託料などの増額で年間37億円の経費がかかる見込みである。財源として国からの地方交付税ですべて賄われる。</p>

<p>民生児童委員については、非常勤特別職の地方公務員であれば報酬や費用弁償が定められており適正な報酬や費用弁償が支払われていると思うが、無報酬のボランティアとはどういうことか。</p>	<p>民生委員法において、民生委員には給料を支給しないと定められている。そのため無報酬(給料)のボランティアと言っている。ただし、実費弁償としては、現在、民生委員に交通費や通信費など月額8,600円の費用弁償を支給している。なお、八王子市では、民生児童委員に市の社会福祉委員の身分を兼ねてもらっているため、市として社会福祉委員報酬を年12万円支給している。</p>
<p>民生委員の仕事と社会福祉委員の仕事をどのように使い分けているのか。</p>	<p>市からお願いしている仕事(社会福祉委員)では、高齢者実態調査として訪問調査をしてもらい市の高齢者福祉施策に反映している。また、民生児童委員としての仕事では、生活保護世帯からの相談や児童虐待などの相談を受け行政につなげる役割を担ってもらっている。</p>
<p>介護サービスについて、あまりにも八王子の介護施設がひどい。親戚が入院していて薬漬けにされた。転院したらすぐに回復した。このような施設にどのような指導を行うのか。苦情相談の窓口も充実させてほしい。障害者福祉について、学校教育の中で人権意識について教えていない。人権教育が遅れている。もっと市民に教えてほしい。</p>	<p>介護施設に対する苦情については現在も市で受け付けているが、施設の指導権限は東京都にある。悪質な場合は東京都が指導監査を実施する。中核市移行後は、苦情の受付から指導まで市が一貫して実施することになるので、速やかに対応できる。窓口での対応についても、中核市という自覚を持ってきちんと対応していく。</p> <p>人権擁護についての学校への啓発については、これまで個々の学校からの要望に応じて障害者や支援者に対して啓発活動を行ってきた。今年度、初の試みとして教員の夏休み中の研修において障害者虐待防止や差別禁止について行った。今後もこのようなかたちで啓発を行っていきたい。</p>
<p>学生も多く高齢化も進むなかで、中核市になることで権限も大きくなり、財源に心配はないのか。また、これまで都で賄っていたものが市に任せられるところが心配である。</p>	<p>中核市移行で職員65名の増員を見込んでいる。それらの人件費や事務を受けることの経費で37億円を見込んでいる。それらは、すべて交付税で賄うので、財源としての心配はないと考えている。</p> <p>市では来年4月の中核市移行に向けて、昨年から43名(今年29名)の職員を都に派遣している。専門性の高い業務を身につけ、それらを市に持ち帰ってスキルを伝えている。万全な体制で引き継げるよう都とも調整をしている。</p>
<p>障害者福祉について。「障害者」という言葉が多くでてきたが、「者」を「物」にすると「障害物」になる。「障害者」は)使い方によっては「障害を与える者」になる。「被障害者」などに改めることについて、障害を受けている人などから議論はないのか。また、八王子市ではどう考えているのか。</p>	<p>「障害者」という言葉は、“障害を受けている方”という意味で使っている。国も同じ考え方であり、法律の定義もそうなっている。障害当事者を含む協議会でもその議論はあるが、全体としては現在のままの言い方でいいというかたちになっている。今後、国の流れを注視していく。</p>
<p>親戚が介護4以上でショートステイとデイサービスに行っていた。今後八王子に権限が移ったときに、ショートステイで行った人が同じ施設のデイサービスを利用できるようなことは(市の権限で)できるのか。</p>	<p>中核市に移譲される権限ではできない。ご家族の意向としてケアマネージャーに伝えることは可能かと思う。</p>

<p>高齢者福祉について。 7～8年前、親戚が入院し寝たきり状態が長く続き筋力が低下したので、病院にリハビリを依頼したが、病院からは「骨折等のリハビリはできるが、高齢者のリハビリはできない」と言われた。介護保険施設に移るよう言われ、市内の老健に入ったら、一か月で寝たきりになった。(老健に)それはおかしいと伝えると、「老健は特養の待機所だ」と言われた。八王子は意識が変わっているのか。あまりにも八王子の介護のレベルが低い。改善してほしい。</p>	<p>特養の待機をしている人が相当数いるのは事実である。市として、待機者がどのぐらいいるのか、特養の整備がどのぐらい必要なのか調査しつつ、27年から3か年の介護保険計画を策定している。事業者には、市も協力しながら、スタッフ教育を含め対応していきたい。</p>
<p>中核市・政令指定都市は都市のランク付けみたいなものなのか。</p>	<p>順位づけではなく、都市の規模により都道府県から移される事務の量が異なるもの。</p>
<p>人口が少なくなれば中核市の資格を失うのか。</p>	<p>実際中核市になれば人口が少なくなり30万人を下回っている市も失っていない。</p>
<p>目指す目指さないは別として人口が80万を超えたら政令指定都市になることは可能なのか。</p>	<p>人口が80万人を超え、国から指定されれば政令指定都市になることは可能。</p>
<p>教員の研修で八王子の事を学んだとしても人事異動ですぐに異動してしまう場合もあると思うがその場合どうなのか。</p>	<p>独自の教育研修の中は、八王子市にいる間は地域に根差した教育は必要。異動した後に八王子へ戻りたいという教員も育てたいので地域を知るといふ事は重要と考えている。</p>
<p>母子保健について中核市移行に伴いサービスの充実が図られると思う。若い世代への「命の大切さ」を訴える必要があると思うが、具体的にはどのようにするのか。</p>	<p>望まない妊娠などが虐待の原因となっていることもあり、中高生等の思春期の子どもを対象にイベントブースでの啓発活動や講義を通して情報を発信していく。</p>
<p>「命の大切さ」の啓発活動は現在、中学生以上を対象にしているように感じる。インターネットの普及等に伴い、危険性も増しており、学校教育と絡めて小学校低学年から啓発活動を実施してほしい。</p>	<p>貴重なご意見だと考える。母子保健は切れ目のない支援と認識しているので、ご意見も参考にしながら母子保健に取り組んでいきたいと思う。</p>
<p>現状がどのように変わるのか説明してほしい。資料には「母子家庭等の就業・自立支援事業がスタート」と書いてあるが、今までほかの自治体(都)では実施していなかったのか。表では、国基準と市条例を比較しているが、都にも条例があり、比較するなら国ではなく、都ではないのか。</p>	<p>現状は東京都が実施している。中核市移行後は八王子で実施をするということを「スタート」と表現した。今後さらに力を入れていきたいと思う。都の基準で事業をおこなっている。今後は市独自の基準を設けてサービスの拡充を図っている。指摘のとおり条例を記載すべきであったが、国の基準しか示さなかったのは紙面の都合である。</p>
<p>学童保育の高学年の受け入れを27年の4月から14施設で実施されるということだがそれにとどまらず、拡充をお願いしたい。</p>	<p>学童保育施設の整備には今まで力を入れてきた。二年前に小学校ごとに一つの整備を完了をした。これは小学校三年生までである。さらにその対象を増やす事はなかなか難しい点がある。「放課後こども教室」であるとか他の児童の居場所の十分な拡充により対応していきたいと思う。</p>

<p>中核市なるとワンランク上のまちづくりができるということだが、それは今までできなかったことができるようになるということか。例えば、私の住む万町は商店がなく、買い物には駅前に行けることが多い。商店を地域に呼び込むような事はできるのか。</p>	<p>中核市になるということは、市で決められることが多くなり、地域の問題が解決していき、まちが活性化することといえる。そのような中で土地の価値観も変わり、万町にも商店が必要であるという声が多くなれば、変わる可能性はあると思う。</p>
<p>今後、高齢者の問題が重要になってくる。高齢者の説明会はいつなのか。</p>	<p>中核市に関する高齢者の説明会は終了している。出前講座や資料提供など個別に対応したい。</p>
<p>サービスの効率化と市民参加の拡充を重く見ている。市民参加の拡充については有識者ばかりでなく、地域に詳しい人材を入れて意見を吸い上げてほしい。</p>	<p>既存の審議会を含み、審議会の委員には地域のことを知っている身近な人材を入れることとしている。また公募が行われる場合には、委員に応募してほしい。</p>
<p>八王子市民ではないが、行政に関心があったので参加した。今回の説明会では、女性の説明者が多かったのが驚いた。職員は、中核市移行により仕事が増えるので、事務が大変になるのではないのか。</p>	<p>大変になるかもしれないが、都と同じ事務を行うことで、都の職員と同じくらいの広い視野を持ち、事務を行えるようになることにやりがいを感じる。</p>
<p>各部門からのメリットの説明があったが、デメリットはないのか。</p>	<p>デメリットはないと考えている。課題は人材の確保と育成と考える。これまで長い間、東京都が担ってきた業務なので、都から研修を受けた。今後も一緒にやっていくことで対応したい。</p>
<p>多くの業務が移譲されるが、財政負担はどうか。</p>	<p>37億円が必要と試算しているが、国から地方交付税として交付される仕組みになっている。</p>
<p>八王子には以前豊かな自然や里山があった。山が切り崩され宅地化されたにもかかわらず、建てられた家の1割が空き家と聞いた。どのように対策を講ずるのか。</p>	<p>空き家対策については、条例を策定し対応している。</p>
<p>省エネ政策について、現在は、コンビニでは冬でも半袖、各施設でも夏は26℃設定である。昔は、木陰があり熱中症はなかった。竹林もたくさんあった。竹の有効活用を図ったらよい。</p>	<p>環境に関しては、LAS-Eに取り組んでいる。施設については夏28℃、冬20℃に設定しており、ウォームビズ等衣服での調整を行っている。</p>
<p>ホームレスなどの人材をボランティアに活用したらよい。</p>	<p>人材は重要で、それには教育が必要である。NPや地域の方々と一緒に進めていく。</p>
<p>このような説明会を、1月にも開催してほしい。</p>	<p>中核市の説明会は6、8、11月で計20回実施した。今後は中核市はもとより、行政活動全般について説明会を行っていく必要を感じた。出前講座も活用してほしい。</p>